

# Book Fan Newsletter

発行:平成25年12月15日

編集:塩尻市立図書館

0263-53-3365

(Book Fan Newsletter 18号)

書店員が選んだ

**今月のおすすめ**



## 『きりえ愛唱歌のふるさと』

柳沢 京子 / 著 塩澤 実信 / 解説 北辰堂出版

日本一の唱歌王国信州の情景をきりえで描いています。「朧月夜」「故郷」など全46作品が収録され、きらめく光や風、情感を感じながら思わず口ずさみたくなります。制作50周年の記念出版で、平成25年度は県内各地で原画の展示をしており、えんぱーくでも平成26年4月に開催。いつも手元において眺めていたい一冊です。(神田堂 大塚さん)



## 『昨夜(ゆうべ)のカレー、明日のパン』

木皿 泉 / 著 河出書房新社

物語は夫、一樹を失ったテツコと息子を失ったギフと同居生活から始まり、テツコはまわりの人々と共にゆるゆると一樹の死を受け入れていく。

淡々とした会話や日常描写の中から、悲しみを抱えて苦しい日々を重ねながらもそれを乗り越えて生きていこうとする強さが静かに伝わってきます。何気ないコトバが優しく、気持ちがほっこりする一冊です。(興文堂平田店 原さん)



## 『気づく力 “青森の神様” 幸せのヒント33』

木村 藤子 / 著 主婦と生活社

テレビでもお馴染みの著者は「青森の神様」として多くの人々の悩みを救う。

人への優しさは自分のところへ必ず返って来る。人の意見を取り入れると世界を広げられ、自分自身に問題があること事を気づかせてくれる。人生の壁にぶつかった時、投げ出したくなった時、何かに気づき、何をすれば幸福に近づけるかわかる本です。(中島書店 木下さん)



## 『花咲小路一丁目の刑事』

小路 幸也 / 著 ポプラ社

人情味豊かな人々が暮らし、日々さまざまな問題が起こる花咲小路商店街。「和食処あかさか」を営む祖父母の家に居候中の若手刑事、敦のもとには非番の日になると不思議な相談ことが持ち込まれる。本の上に檸檬がひとつずつ置かれるようになった本屋さん。死んだはずのおじいさんから手紙が届くラーメン屋さん。事件解決の暁にはほんのりと幸せが届く。(中島書店 中島(順)さん)



## 『まどから★おくりもの (五味太郎・しかけ絵本)』

五味 太郎 / 作・絵 偕成社

クリスマスプレゼントに絵本を！ お子様にはクリスマス絵本の定番とも言えるこの本をオススメします。あわてもののサンタさんの思い違いがゆかいな穴あきしかけ絵本。

お子様の想像力を刺激する楽しい一冊です。(丸文塩尻書店 金子さん)



📖 この面に掲載されている本の紹介は、市内に本店のある4書店にご協力いただいています。📖

### ■神田堂 (52-1283)

年末年始のお休みは1月1日のみです。ぜひお越しください。

### ■興文堂書店 (58-0323)

『世界に一冊だけの手作り絵本』好評承り中です。見本をi-CITY店、平田店にてご覧いただけます。

### ■中島書店 (54-3968)

「松浦弥太郎と暮らしの手帖社」ブックフェア開催(1月2日から1月31日まで)

### ■丸文塩尻書店 (52-5515)

クリスマス絵本多数入荷中！！ぜひお越しください。

図書館員が選んだ

## ★ 今月のおすすめ本

『ソフィー・スコットの南極日記（絵本地球ライブラリー）』

アリソン・レスター / 作 斎藤 倫子 / 訳 小峰書店

地球儀で見ると一番下にある大陸、南極大陸。9歳の少女ソフィーが船長のパパと一緒に南極で過ごす1カ月。絵や写真が満載で、ソフィーと一緒に南極を旅する気分になります。  
(児童担当 青柳)



『スノーマンとスノードッグ』

レイモンド・ブリッグズ / キャラクター原案

ヒラリー・オーデュス、ジョアンナ・ハリソン / 作 きやま かすみ / 訳  
竹書房

愛犬を失った少年ビリーが、ある日床下で見つけたのは、古びた石炭と古い写真。そこには少年と大きなスノーマンが写っていて！ 1987年に出版され、世界中の人々から愛されている“スノーマン”の続編。心が温かくなる、クリスマスにピッタリの絵本です。  
(児童書担当 青山)



『歩く』

ヘンリー・ソロー / 著 山口 晃 / 編・訳 ポプラ社

『森の生活』で知られるヘンリー・ソローが晩年に残した最後のエッセイです。ソローは現代の生活や文明に目を向けながらも森に生き、夜が明ける前に目を覚まし曙光を浴びながら西の地平線に見える森へと歩き続けました。

—何故自分は歩くのか— 彼の力強い不変の哲学が込められています。また、本書の後半には編者によるソローについての覚書があり、伝記のようにもなっています。  
(外国文学担当 北島)



『ピラミッドの建て方（「もしも？」の図鑑）』

中川 武 / 監修 柏木 裕之、米澤 貴紀、伏見 唯 / 著  
実業之日本社

4000年も前に建てられたエジプトのピラミッド。どうやって建てたのか、どんな構造をしているのか、などのおもしろいトピックスが詳しいイラストや写真を使って書かれています。ピラミッドだけでなく、万里の長城、サン・ピエトロ大聖堂、マチュピチュなど世界の巨大建造物もとりあげられています。  
(ヤングアダルト担当 中村)



『Swan song』

若本 俊雄 / 著 小学館

“冬の使者”といわれる白鳥。この写真集の白鳥は福島県・猪苗代湖に飛来する白鳥たちです。白鳥の愛くるしい姿や厳しい寒さに耐える姿など、長期間かけなければ撮影できない写真が盛りだくさん。写真家の若本俊雄さんはガンと闘いながら白鳥を撮り続け、24歳の若さでこの世を去りました。彼の白鳥に対する熱い思いが伝わってくる写真集です。  
(芸術分野担当 林)



『おかし（たくさんのふしぎ傑作集）』

なかがわ りえこ / ぶん やまわき ゆりこ / え 福音館書店

みんなを笑顔にするおかし。子どもの栄養、お誕生日のお祝い、がんばったごほうび、願いをこめたプレゼント、なかなかおりのきっかけ、などいろいろな役目をもっています。楽しいおかし、やさしいおかし、きびしいおかし、みなさんにとってのおかしは…？  
(児童書担当 前田)

